

拓く ひらく

人の話は目と心で聴く みんなが先、自分が後 臆づき、考え、行動する

明石市立衣川中学校 第1学年
学年通信 No. 20
2018年(平成30年7月10日)

“きっかけ”を自分で作らない そして、断る勇気が未来をつくる ～『薬物乱用防止』講演会～

9日(月)6校時に「明石しおさいライオンズクラブ」11名の方々が、衣川中学生のために講演会を行っていただきました。

薬物中毒に陥った人のお話

- 自分自身の夢や希望を失う
- 大切な人の人生もくるわす
- 失ったものは戻らない

薬が無くなると、いてもたってもいられない状態になってしまう

● お世話になった先輩からの誘い

● 一回くらいなら良いだろう

“きっかけ”の多くは…

- 未成年でお酒や喫煙を行った
- 携帯電話の使い方を間違った

飲酒や喫煙をしているのだから、一回くらいなら…

顔も知らない人と交流するようになったことで
悪いとわかっているけど、断りきれないことに…



仲間を見つめ自分を見つめる②～講演会を終えて感想文より～

薬物の危険性が映像や芝居でわかりやすく絶対に使ってはいけないということがわかった。これから夢をかなえるためにも、薬物を勧められても断って薬物と関わりのない人生にしていきたい。

怖いと思った。最後のRちゃんの話聞いた時、なんかRちゃんの気持ちがわかる気がして怖かった。私たち中学生はお金をあまり持てない。だからお金…ってなるのもわかる。でも、やっぱりおかしい。Rちゃんがやめておこうとなれなかったのがどうしてなのかわからないです。人の人生はささいなことかわってしまうことがわかった。

本当に薬物というものは、危ないものだということがわかりました。薬物を使うと夢や希望を失うということは知らなかったです。今、僕には夢があります。この夢は僕にとってかけがえのないものです。この夢、そして人生を「こんな薬物というくだらないことで、こわしてたまるか」と思いました。

「私は大丈夫…」「僕には関係のない話だ」と考えてしまう人に、“きっかけ”を自分で作ってしまう人が多いようです。まずは、“きっかけ”を自分で作らないこと。

そして、自分のその時の状況に関わらず、“断る勇気”と“断る方法”を身につけること。

断る方法には、「きっぱり」断る方法と「ふわっと」断る方法の2つがあるということでしたね。

どちらの方法でも“断る勇気”をもって誘いを断り、自分の夢と希望に満ちた未来をつくりたい。

毎学ノート終了

～毎日コツコツと努力をしている人がいます～

5冊目終了 3組

1冊目終了 2組

3組

4組